



【実施範囲】
福島県、宮城県、茨城県、
栃木県、群馬県の全域及び
岩手県、千葉県等の一部

【測定地点】
602地点

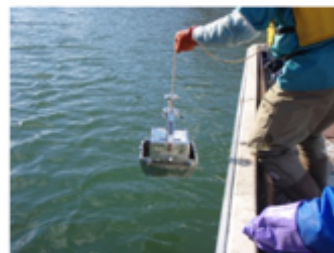
【核種分析】
＜試料＞
水質、底質、
周辺環境（土壌）

＜対象核種＞
放射性セシウム
放射性ストロンチウム
（一部水質、底質）等

【頻度】
汚染状況等に応じて、
年に2～10回の頻度で調査。



(河川・水質)



(湖沼・底質)

環境省 令和5年度公共用水域放射性物質モニタリング調査結果（まとめ）
(https://www.env.go.jp/jishin/monitoring/results_r-pw-r05.html) より作成

福島県を中心に、宮城県、茨城県等、放射性物質による汚染の懸念がある地域の河川、湖沼等において、モニタリングが実施されました。

2023年度は、602地点でモニタリングが実施されており、水質等に含まれる放射性セシウム、ストロンチウムの分析が行われました。

水質の放射性セシウム濃度の調査結果は以下のとおりです。

【水質の放射性セシウム濃度の調査結果】

河川（2,007試料） 全て検出下限値未滿

湖沼・水源地（1,377試料） 福島県浜通りの10試料（2地点※）で検出された以外、
全て検出下限値未滿

沿岸（534試料） 全て検出下限値未滿

※検出された地点では、いずれも浮遊物質（SS）や濁度が比較的高い状況

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2025年3月31日